

読書活動への扉を開く！

No. 39

桑村小学校 令和5年8月31日

文責：渡邊

函南町立図書館に出かけよう！ ー第1学年児童の作品よりー

この夏休み、桑っ子たちは家族の皆さんと函南町立図書館に出向き、いろいろなことを発見してきました。

はじめに、1年生の作品を紹介します。

1ねん うちだ れいらさん

むずかしいほんがたくさんありました。わたしはアサガオのほんをかりることにしました。アサガオのおはなをつかっているみずやおしばなのつくりかたがのっていたのでおうちでよんでいたら、アサガオはむかしはくすりとしてつかわれていたことがわかりました。ほかのアサガオを育ててみたいとおもいました。

せいかつかのおべんきょうでアサガオをたいせつにそだてているから、アサガオのほんをえらんだのでしょうか？じぶんのきょうみがアサガオのはなのようにいっぱいひらくのはとてもすてきなことだとうちょうせんせいはおもいますよ。

1ねん わたなべ さなさん

わたしは、『水と人びとのくらし』という本と『ちいさなサンタまちにいく』という本と『一ねんせいになったあなたへ』という本をかりました。

水のほんをよんで、とおいくにのこどもたちはいつもおやすみもなく水をはこんでいるから、なんとかたすけてあげたいので水をだいじにしてください。たべものをのこすと水をたくさんすてるのとおなじなので、わたしもたべものをのこしたり、水をだしっぱなしにしたりしないようにします。

こうちょうせんせいもさなさんとおなじように水をたいせつにしたいとおもいます。とてもたいせつなことにきがつくことができましたね。おおくの人たちがさなさんとおなじおもいをもつことができるとすてきですね。

1ねん なかむら あやかさん

いつもとしょかんにいっているけれど、みているだけでたのしくなります。わたしは7がつ28にちにかぞくでとしょかんにいきました。2かいにいって、きょうみがあるほんをみつけたけれど、むずかしそうなほんばかりでした。1かいには、こどもがすきなものばかりありました。わたしは6さつかりました。

まちのとしょかんでたくさんのはっけんをしましたね。かぞくのみなさんとでかけたことは、とてもすてきなことだとおもいます。こうちょうせんせいもこどもがちいさいとき、ぬまづのとしょかんによくでかけたこをおもいだしました。6さつものほんをかりてよんだことは、とてもすばらしいことだとおもいます。これからもどくしょをたのしみましょうね。

1ねん むねとう はるなさん

まどがおおきくて、としょかんのなかはあかるかった。ほんをよむいすやテーブルはいろいろなものがあってかわいかった。しぜんのほんやどうぶつのほんもたくさんあって、えらぶのにじかんがかかったよ。あいうえおのじゅんにほんがならんでいたよ。

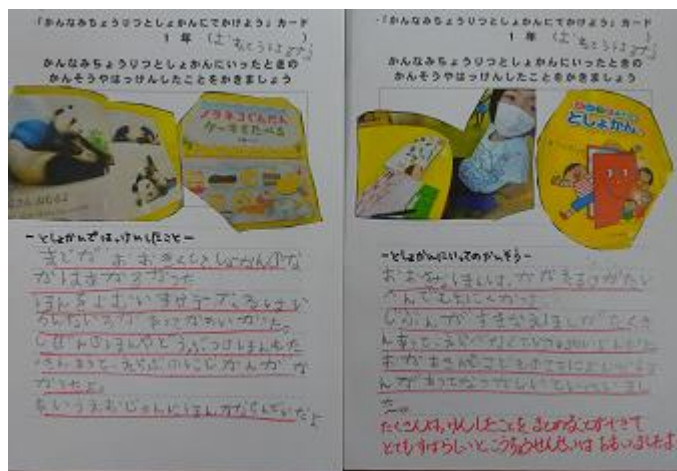
おおきなほんは、かかえるのがたいへんでもちにくかった。じぶんがすきなえほんがたくさんあって、いっぱいよんだよ。

おかあさんも、こどものころによんだほんがなくて「なつかしい」といっていました。

まちのとしょかんでたくさんのかんことをはっけんすることができました。そして、それをしゃしんをつかってわかりやすくまとめることができました。おうちの人といっしょにでかけて、としょかんのくふうをさがすのはとてもすてきですね。



【1年生の作品より①】



【1年生の作品より②】